

広報

かわにし



平成3年 1/10 No.389

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
—1月1日現在—	
男	4,468(-4)
女	4,506(-4)
計	8,974(-8)
世帯数	2,225(-3)

()は前月比較

ギネスに挑戦 ジャンボ門松

上野諏訪神社手前と上野小学校付近の道路
両側に、高さ五メートルのジャンボ門松がで
きあがりました。

これは、上野商工会(高橋定之会長)が、
「地域の活性化に役立てたい」ということで
始めたもので、ことしで四回目となります。
作業にあたった方は、「今度、もっと大き
なものを作ってギネスに挑戦したい」と話し
ていました。

—12月20日—

1月13日 池田 医院(本町西)

☎52-2581

15日 庭野 医院(寿町)

☎52-2711

20日 大島 医院(川原町)

☎52-2957

27日 中条 病院(中条)

☎57-3018

2月3日 第二藤巻医院(上野)

☎68-2018

10日 富田 医院(神明町)

☎52-3269

11日 山口 医院(袋町)

☎52-2174



休日救急医



議会報告

十二月十八日から二十一日まで、四日間の会期で第七回町議会定例会が開かれました。

十八日は、七人の議員による一般質問と、専決処分した事件四件の承認がありました。

翌十九日には、平成元年度の一般会計と、七つの特別会計決算が認定されました。

最終日の二十一日は、初日に建設任民常任委員会に付託されていた一川西町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例一を可決し、町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例改正など、十五件を原案どおり可決しました。

また、大規模開発にかかると総合的な対策を審議するため、十人の委員で構成される大規模開発特別委員会を設置。委員長に柳藤作議員、副委員長に田口直人議員が選任されました。一般質問の概要を中心にお知らせします。(質問順に掲載)

地元コシヒカリで給食を

平野 正義 議員

川西産コシヒカリ百％の給食が、町内小・中学校で実施できるように、関係機関で積極的な取り組みができないか。

南 雲 町長

最近、学校給食にバイキング方式を取り入れるなど、学校給食形態も大きく様変わりしようとしている時代である。

農協など、関係機関といろいろ協議を重ねた中で、何よりも子供たちの要望なども取り入れ

ることを主眼において、検討を加えていきたい。



給食センターで昼食の用意をする生徒

中子広場の管理運営は

上村 広治 議員

① 流雪溝整備計画と克雪タウン計画の総合性について

(1) 克雪タウン計画の財政的裏付けをした年次計画を作ったかどうか。

(2) 流雪溝整備計画体制確立の考えは。

(3) 主要地方道小千谷十日町津南線の、家屋連たん地域における流雪溝整備計画は。

(4) 雪処理条例制定の見直しは、役場内における町民への対応について、その研修のあり方や

サービスの必要度をどのように考えているか。

③ 中子広場の管理運営について

(1) 芝生広場と野外ステージの管理はどうするか、どのように町民に利用してもらおうのか。

(2) パターゴルフ場の利用料などはどうしていくのか。

(3) 電灯料などの設備費も相当になる。その支出はどうするか。

(4) 広場に常駐する管理人を置くのか、その所属はどうするか。

また、今後の拡張計画を合

わせた総合的な考え方について伺いたい。

南 雲 町長

① (1) 克雪タウン計画は、総合開発計画の中で、克雪対策の具体的施策として、雪に負けない家づくりや地域づくりを積極的に展開していく指針を記述したものである。

このタウン計画の具体的なものについては、さらに内部協議と細部にわたる策定が必要である。

行政の力だけで達成されるべき性格のものではないので、地域の方々のご理解、ご協力をいただく中で実施したい。

(2) 流雪溝計画は、平成二年度で水源としての農業用水の遊休期間利用について、所管する関係機関との協議を継続しているところである。

町としては、農業用ダムとして築造した川西ダム以下、五つのダムの遊休利用、多目的利用を図ることが、必要欠くべからざる手段である。

平成三年度は、農業用ダムの多目的利用のために水利権を獲得するような申請を提出するということのような段取りになっていることをふまえ、流雪溝の整備計画を実施したい。

(3) 本線は、すでに一次改良完成の路線であり、公共費の導入

が難しい実情である。しかし、そのような実情にあまんじていた場合には、いつまでも整備ができないということもある。

国道二五二号交差点から十日町側については、街路事業で、以北については、小千谷市との期成同盟会の設立によって気運を盛り上げていきたい。

側溝の流雪溝への切り替えについては、水利権確保と並行して流雪溝全体の計画を立てたい。その材料を持って改めて国・県と協議したい。

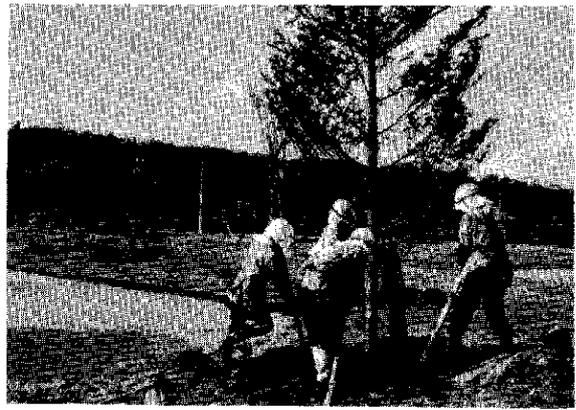
(4) 流雪溝整備計画を平成三年に策定したい。総合開発計画後期計画との整合性を保つ必要がある。その結果を待つて雪処理条例を検討したい。

② 職員の言動、態度が悪くては、町行政の円滑の遂行はできないという懸念があるので、昭和六十三年から職員の応接にしばつた研修や、民間主催による電話対応セミナーなどの研修に職員を参加させている。

こういう問題は、これでいいというような性格のものではないと思うので、今後とも職員研修の一層の充実を図り、日常業務をとおして職場内の研修を進めていきたい。

③ (1) この施設は、町民の皆さんが自由に憩える広場として、大勢の人たちから利用していただくことを目的にしている。

したがって、広場の入場は無料とし、目的に添った利用がされるように運営していかねければならないと考えている。



着々と工事の進む中子広場

次期町政に対する基本姿勢は

桑原 要雄 議員

町長は就任以来、時代に即した堅実な町政運営をされてきた。これからも残された多くの問題と大事業を抱え、次期町政担当の意志をただすことは、当町のみならず郡市内の一大関心事であると推測される。

町長の決意のほどをお聞きしたい。

南 雲 町長

私の任期は、平成二年七月九

ばならないと考えている。

管理については、パターゴルフ場を含めて委託にする方向で検討している。地区青年会、町内会といった公共的団体に委託できることになっているので、これらを含めて委託先の検討をしてみたい。

(2) 他市町村の類似施設の例を参考に、幅広く利用しやすい料金設定をしていかなければならないと思っている。

(3) 電灯料などを含めた施設全体の維持管理費は、パターゴルフ場の使用料の充当はもちろんのこと、「町おこし基金」のふるさと創生資金及びその運用益などの充当を基本として、維持管理に当たりたい。

(4) 利用期間内には、常駐の管理人を置かなければならない、このことを含めて委託管理をしたいと考えている。

また、この所属課については、関連整備が予想されているので、委託事務を含めて総務課で担当する予定である。しかし、この施設が観光・レクリエーションの性格の強い施設であるので、完成後は、維持管理について所管替えをした方がよいのではないかという考え方も持っている。今後の拡張計画を合わせた総合的な考え方は、今の「ふるさと広場ゾーン」を核として一体的な利用ができ、かつ、町づくりにマッチした施設整備を図ってみたい。

今後の町政の取り組みは

羽鳥 力夫 議員

① 中子と松葉荘周辺とを合わせた整備・充実が図れないか。

② JR問題について、協力して良かったと言われるような結果が得られるよう、全力で努力していただきたいがどうか。

③ 今後、町をどのような方向に押し進めていくのか。

南 雲 町長

① 松葉荘周辺の整備・開発については、県単の一魅力ある観光地づくり「事業を、新規に松葉荘開設と時期を合わせて開発構想を策定した。しかし、この事業認定に至らなかったという経緯があった。

このような事情から、目下のところ、「ショウブ園」や「ハス池」を整備して、将来の開発に向けた、布石づくりに留意しているところである。

また、松葉沢一帯が「川西八景」に選ばれていることから、砂坂の町有地「イチヨウ団地」の整備や、既設の林道の高規格化・舗装を図るべく、広域的な対応の取り組みも行っている。

中子地区との連携を深めるために、道路の新設を含む基盤など、研究課題として研究を続け

ているところである。

② 現段階において、ほとんど基本的な事柄については同意が成立しており、平成二年度において地区、住民の理解を得ることを前提として、恒久対策をJRが施工する運びとなっている。農業用水は、基本的には横坑湧水(おうこうゆうすい)を当て、それぞれの被害地について適当な貯水、配水槽を設けながら、被害相当水量を配水することで協議が成立している。

上水道補償は、ほぼ全面的に代替施設を補償するということが何度か報告申し上げた。生活雑用水については、内容的にはあくまでも個人の水需要の問題であり、最終的には各人の意志決定によるところが大きい問題である。その基本的な部分の水補償水源を旧水道水源井に求めているところである。これは、上水道の水源が量・質ともに確保されたということできれば、それを転用していただくというわけにはいかない、このような状況になっている。

③ 平成三年度が、町総合開発計画改定の年に当たることから、今後、うるおいのある豊かで活力ある町づくりに向けて、条件整備を図ってみたい。



松葉荘野外ステージで開かれたロックコンサート

医薬品購入比率の削減方策は

柳 藤作 議員

出していることはご指摘のとおりである。

① 全国の国保診療所（一、三七八カ所）の平均からみれば、町の診療所の診療収入に対する医薬品の購入比率が突出している。これを全国平均程度まで自助努力で切り下げることが可能かどうか。

② この比率の引き下げによって、住民医療充実のため、高度医療器具の充足に力を入れるべきと思う。その意旨があるか。

南 雲 町長

① 同規模の診療所に比べると、診療収入に占める医薬品代が突

町づくり条例を制定しては

田口 直人 議員

① 開発構想に対処した「町づくり条例」が制定できないか。
② 文化会館を広域的に建設できないか。

南 雲 町長

① 県内では、「町づくり条例」というのが具体的に制定されているケースはないようである。しかし、安塚町のように、町の構想に大資本が乗ったというめ

大塚保健衛生課長 準備している医療機器は、全体が撮れるレントゲン装置、酸素吸入装置、聴力・眼底検査のできる装置、超短波の装置、携帯用心電計など、新年度予算要望の中に計上させていただいた。

各種検診や予防が、病気を防ぐ第一歩です。



移していきたいものと考えている。

また、社会教育事業の推進の「館」として、公民館の役割りを一層機能させるために、文化会館が位置づけられることが望ましいと思っている。

広域的な問題については、十日町市が具体的にどのようになっているのか、うまく川西の構想と一致するかどうか、十日町市との協議の中で模索していきたい。

温泉開発その後の状況は

根津健治郎 議員

① 温泉開発について、現在までの調査結果、今後の対応について伺いたい。

② 県道小千谷十日町津南線の改良、除雪路線格上げについて。

南 雲 町長

① 温泉源の調査については、過去、二カ年間にわたり実施してきたところである。

近隣の真人・下条において湧出した箇所を結ぶラインについては有望であるという成果をみている。また、西部地区中心の鉱泉の可能性については、要件を満たす結果が得られなかった。今後の対応については、有望

との結果が出た地域を中心に、町が温泉掘削を行うとすれば、町民の健康増進、保健休養的なクワハウスの建設目的ということになる。

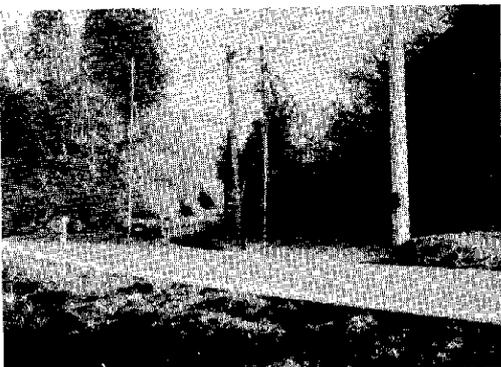
総合的な施設整備、利用者のニーズに答え得るような条件づくりと、それに伴う土地利用、開発構想などを次期総合開発計画の中で整理し、行政オンリーの開発にとられない方途も考慮に入れたいと存じている。

② 毎年、県に対して改良方を要望しているところである。しか

し、一次改良が終わったという理由だけで大きな改良計画の導入を図ってもらえないという実情にある。

幸い、地域関係の皆さんのご尽力によって、主要地方道小千谷十日町津南線の上野交差点以北については、小千谷市と協力しながら協議会を結成して改良促進を図っていくという結果になった。

この協議会結成ということに契機に、何とか年度内に期成同盟会を結成したいということで、小千谷市長とも話し合いをしているところである。それによる今後の活動に、大いに期待をしたいと思う。



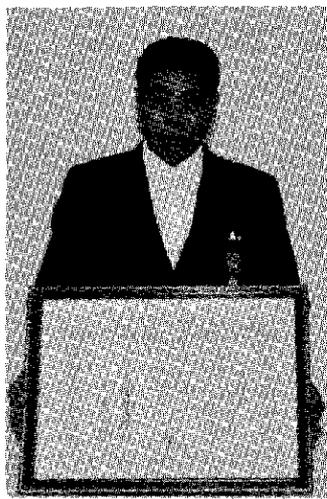
急カーブで見通しの悪い
③ 小千谷十日町津南線（野口）

地方自治に貢献 滋野さん(野口)に藍綬褒章

去年十一月一日、社会の発展に貢献した長年の功労者に贈られる秋の褒章受賞者が発表されました。

町では、滋野一郎さん(63歳)に藍綬褒章の受賞が決まり、十二月七日、本人に伝達されました。

滋野さんは、昭和三十年四月橋村議に初当選し、町村合併まで一期・一年四カ月間在職。合併後の川西町議会議員としては、三十一年九月から現在まで連続十期・三十五年二月月間、合わせて十一期・三十六年六カ月間在職し、町政



の進展に貢献されています。

四十八年九月から五十二年八月まで、六十二年九月から平成元年八月までの合わせて六年間は、副議長として議会の円滑な運営に尽力されました。

また、この間、産業経済、土木厚生、産業厚生、総務文教の各常任委員長、豪雪対策特別委員長など、町議会の重要な役職も歴任されました。

さらに、広域行政圏の各種一部事務組合議員を歴任しているほか、町の総合開発計画審議会、都市計画審議会、農業委員会など、各種行政委員会の委員を長年にわたり歴任。地域住民の福祉向上に寄与したことが認められたものです。

ました。

南雲さんは、昭和三十年から連続して八回調査員を歴任。今回の指導員の職にあつては、担当地域において確実な調査結果が得られたとして、その功績が認められたものです。

また、南雲さんは、工業統計調査(35年から)29回、商業統計調査(35年から)13回、事業所統計調査(26年から)13回、国勢調査(25年から)9回などそれぞれの調査員としても活躍しています。

学校の先生に 四週六休制が継続試行

県教育委員会では、平成二年七月二十二日から三年三月三十日まで、四週六休制を試行しています。

この間、学校では教育活動に支障のないように、主に長期休業や規則に定める休業日、行事などで、児童・生徒の授業のない日・時間を割り当てています。これが「勤務を要しない日・時間」です。

前年度の実態では、割り当てられた日・時間が取れなかった

ことがありました。そこで、県の例示によって、郡市内の教育委員会と連絡をとり、今年度は、地域行事として、小正月・一月十四日(月)と川西雪まつり・三月二日(土)を割り当てることにしました。

両日は休業日となりますので、町民の皆様のご理解をお願いします。

川西町教育委員会

第四十二回 全国高校駅伝大会



十二月二十三日、京都市西京極陸上競技場を発着点として、第四十二回全国高校駅伝大会がありました。

新潟県代表として出場した十日町高校の選手の中に、小海裕さん(木島)がいます。

小海さんは、第四区(八・〇九キロ)を、区間順位二十四位という好タイムで走りしました。

「下りコースだったので、つらくなかった。気持ち良く走れて良かった」と、感想を話してくれました。

南雲さん(三領)に 農林水産大臣表彰

十二月十二日、南雲隆三さん(56歳)が、去年二月一日現在で実施された、一九九〇年世界農林業センサス功績者として、農林水産大臣表彰を受賞しました。

県内では、市町村二団体、指導員四人、調査員七人が受賞し

パトン タッチ

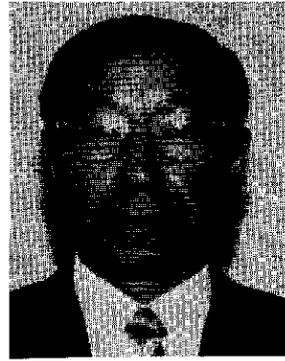


引間子平さん（坪山）

明治40・1・11生（84歳）

去年は孫が結婚し、自分も健康で畑仕事などもでき、いい年でした。好きな俳句を投稿することや、隣にお茶飲み仲間がいることは何よりです。

平成三年は未年です。ことしの目標を決め、「迷える羊にならないよう、スタートを切りたいものです。恒例となりました、町長と議会議長から、町民あてに新年のご挨拶をいただきました。合わせて、町では八代の未年生まれの方々が六八九人おられます。全町民のおよそ七、七パーセントにあたります。輝かしい新春にあたり、未年生まれで、それぞれ一月一日生まれか、その年の一番早い日に生まれた方を紹介します。



川町長南雲春雄

平成三年元旦

喜無限



田中幸江さん（小白倉）

昭和6・1・1生（60歳）

しめ飾り作りに大変忙しい思いをしました。家族が健康で、事故のないことが何よりです。早く家族が増えるように願っています。

桐生 大さん（大白倉）

昭和30・1・2生（36歳）

仕事に追い回されているので家族を増やすことまで心配しませんでした。仕事を一生懸命することはもちろん、パートナーを見つかるべく頑張ります。



柄沢照和さん（高原田）

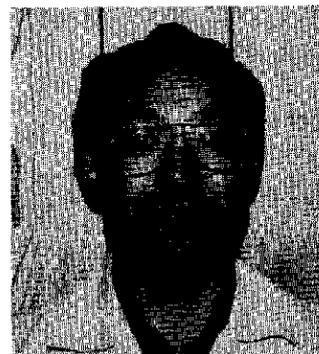
昭和6・1・1生（60歳）

長男、次男とも私の仕事を継いでくれたので言うことなしです。家族が健康であること、仕事が順調であることを願っています。

富井千鶴子さん（上野）

昭和6・1・1生（60歳）

還暦を迎えて、ここまです事に健康で仕事ができることをうれしく思っています。地域に溶け込むような仕事ができるように願っています。



ウマ 年さんから ヒツジ 未さんへ



野沢惣太郎さん(仁田)
昭和18・1・1生(48歳)

去年から長男が勤めに出ています。車通勤なので、特に交通事故が気になります。家族が健康でコミュニケーションを持っていた生活をしたと思います。

若山ツヤさん(上野)
大正8・1・2生(72歳)

去年は家族も健康で、病気にもならず、いい年でした。孫の世話があるのですぐにはできませんけど、暇ができたなら何か趣味でも見つけたいものです。



太田治平さん(田中町)
昭和18・1・1生(48歳)

ことし、下の子が高校を卒業します。ひと安心といったところです。結婚25周年記念に向けて、旅行の積み立てでも始めてみましょうか。



清水洋子さん(上町)
昭和18・1・1生(48歳)

千手に来て、もう26年経ちました。ママさんソフトボールなどの運動をやめたら太って困るので、今度、おばたりあんバターゴルフでも始めようかな。

景 福

平成三年元旦

川崎通会会長

押木元男

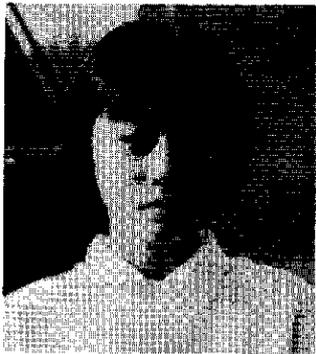


清水 満さん(寺ヶ崎)
昭和42・1・6生(24歳)

公言しているのかどうかかわらないけど、意中の人がいるので、早く結婚したいと思っています。桜の花が咲くころに一緒になれば最高です。

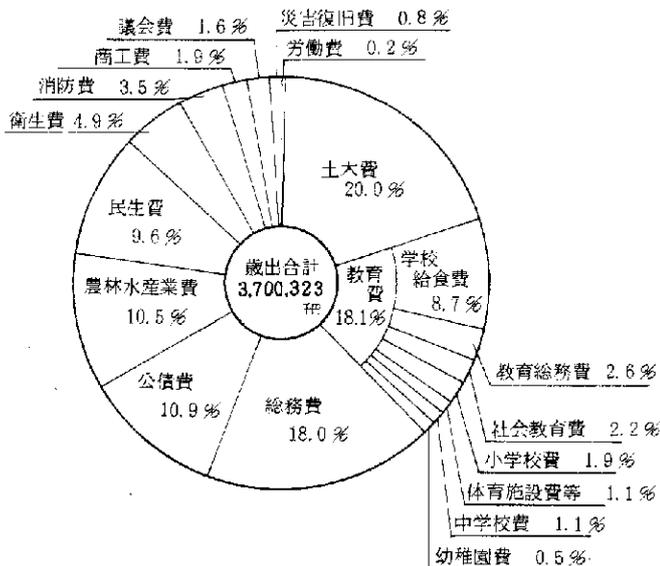
永井宏子さん(木落)
昭和54・1・10生(12歳)

小学校ではスキートのクラブに入っています。ノルディックを一生懸命したいです。四月に中学校に入ったら、陸上をやりたいと思います。



元年度決算

平成元年度の決算が、十二月の議会で認定されました。この決算は、平成元年四月一日から平成二年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会



目的別歳出の内訳

計の概要をお知らせします。歳入は、三八億二六四三万円、歳出は三七億三二二万円、六十三年度決算に比べて、歳入では三・五%、歳出では二・九%の減少となりました。

歳入は、町税、分担金、負担金、使用料、手数料など、町が白らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のように、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

町の歳入構造は、依存財源の

割合が高く、元年度決算では、六三・八%となり、六十三年度と比べて九・二ポイント増加しました。地方交付税が七・九ポイント増加したことが大きく影響しています。

歳出の主なものとしては、へき地教員宿舎建設、庚塚運動場整備、学校給食共同調理場建設、松葉荘改築、流雪溝・消パイ工事、町道の改良舗装工事、下水道の管路工事などがあります。

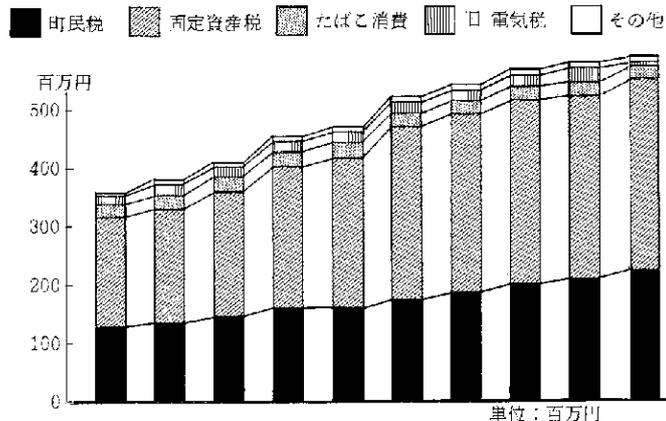
町民一人当たり、四十一万六千円程度が投資され、快適な町づくりを進めるため、着実に町の環境が整備されています。

町の行政水準は...

町の行政が住民の要求をどの程度満たしているか、あるいは住民にどの程度のサービスを提供しているか。この尺度のことを行政水準といいます。行政水準の大きな要素の一つである公共施設の整備状況を、近隣市町村、県平均と比べた状況を紹介します。

区分	川西町	十町市	津南町	中里村	県平均		
道改良率	60.9%	45.7%	39.0%	31.2%	46.1%		
舗装率	49.8	62.5	59.8	52.6	56.5		
路交通率	14.6	40.7	4.9	23.0	15.4		
下水道普及率	9.9	29.1	0.0	0.0	17.0		
し尿衛生処理率	99.3	98.8	94.0	96.5	95.5		
ごみ収集率	56.1	97.3	95.0	79.9	93.9		
保育収容率	92.4	108.0	97.9	88.3	91.5		
65歳以上高齢化率	18.6	15.4	21.2	18.2	14.3		
人口1人当り公園面積	18.8㎡	2.2㎡	8.0㎡	6.7㎡	4.8㎡		
幼稚園保育所収容率	148.4%	128.4%	126.1%	133.0%	112.3%		
学校	小学	非危険	97.6	93.1	86.1	75.3	86.4
		危険	0.0	0.4	7.7	0.0	2.1
	中学	非危険	99.3	83.7	48.6	100.0	84.3
		危険	0.0	5.3	46.2	0.0	2.0

過去10か年の町税収入の推移



年度	昭55	56	57	58	59	60	61	62	63	元
町民税	129	135	145	161	162	175	186	201	210	221
固定資産税	192	199	218	245	260	302	313	321	320	329
たばこ税	23	25	27	27	28	24	24	25	26	24
旧電気税	17	19	19	19	20	20	19	20	25	5
その他	5	8	8	9	10	11	11	13	11	13



学校給食共同調理場開所式
(2・2・14)

1990年

世界農林業センサス結果

一九九〇年世界農林業センサス(平成二年二月一日現在調査)の結果がまとまりました。

それによると、町の総農家数は一、三二七戸で、五年前の前回調査(昭和六十年)に比べ、九四戸(六・六%)の減少となりました。これは、昭和三十五年、川西町として調査を始めて以来、減少率が最も低い数字となっています。

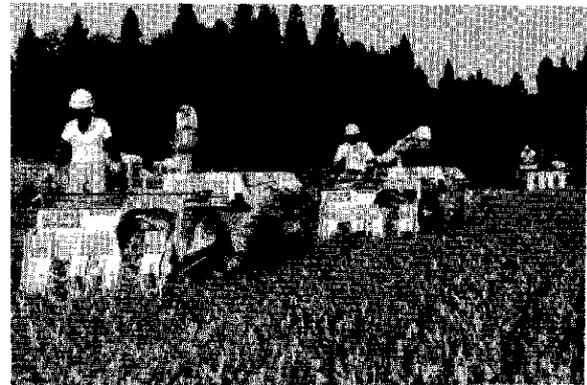
この五年間で、農業を主とする第一種兼業農家が三七・四%と大幅な減少となり、町の農家の構成は専業が五・四%、農業収入を主とする第一種兼業は八・五%、農業以外の収入を主とする第二種兼業は八六・一%で、第二種兼業農家の比率が一段と高まりました。

また、跡継ぎ予定者のいない農家は五〇・九%になり、農家人口の高齢化を示す厳しい経営環境がうかがえます。

経営耕地の総面積は、七・〇%減少して二二万六〇三八アール(水田八八・五%、畑地一・四%、樹園地〇・一%)となり、水田の一農家当たり面積は前回の八三・一アールから八四・一アールと、一・二%増加しました。

総農家数

区分	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年
農家数(戸)	2,142	2,003	1,848	1,642	1,535	1,421	1,327
5年間の増減数(戸)	-	△139	△155	△206	△107	△114	△94
5年間の増減率(%)	-	△6.5	△7.7	△11.1	△6.5	△7.4	△6.6



コンバインを運んで刈り取り作業に励む農家の人たち

専業別農家数

区分	総農家数	専業農家	兼業農家			
			計	第1種兼業	第2種兼業	
農家数(戸)	昭和55年	1,535 (59)	(1,476)	(274)	(1,202)	
	60年	1,421 (68)	(1,353)	(179)	(1,174)	
	平成2年	1,327 (72)	(1,255)	(112)	(1,143)	
		1,327	78	1,249	114	1,135
増減率(%)	55年-60年	△7.4 (15.3)	(△8.3)	(△34.7)	(△2.3)	
	60年-2年	△6.6 (5.9)	(△7.2)	(△37.4)	(△2.6)	
構成比(%)	55年	100.0 (3.8)	(96.2)	(17.9)	(78.3)	
	60年	100.0 (4.8)	(95.2)	(12.6)	(82.6)	
	2年	100.0 (5.4)	(94.6)	(8.5)	(86.1)	
		100.0	5.9	94.1	8.6	85.5

() は旧専業別農家数

経営耕地面積

単位：a, 戸, %

区分	経営耕地							
	総面積	田		畑		樹園地		
		農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	
実数	昭和55年	138,965	1,516	119,038	1,489	19,630	12	297
	60年	135,468	1,407	118,061	1,345	17,147	12	260
	平成2年	126,038	1,303	111,581	1,211	14,385	3	72
増減率	55年-60年	△2.5	△7.2	△0.8	△9.7	△12.6	0.0	△12.5
	60年-2年	△7.0	△7.4	△5.5	△10.0	△16.1	△75.0	△72.3

経営耕地面積規模別農家数

区分	総農家数	自給的農家		販売農家															
		計	例外規定	計	例外規定	販売農家													
						0.1~0.3ha	0.1ha未満	0.1~0.3	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0~3.5	3.5~4.0	4.0~5.0	5.0ha以上	
実数(戸)	昭和60年(組替集計値)	1,421	146	-	146	1,275	1	-	229	552	264	113	64	21	(注1)19		6	6	
	平成2年	1,327	173	-	173	1,154	2	-	203	491	253	88	55	24	(注2)18	8	5	7	
増減率(%)	60年-2年	△6.6	18.5	-	18.5	△9.5	100.0	-	△11.4	△11.1	△4.2	△22.1	△14.1	14.3	36.8		△16.7	16.7	
構成比(%)	昭和60年(組替集計値)	100.0	10.3	-	10.3	89.7	0.1	-	16.1	38.8	18.6	8.0	4.5	1.5	1.3		0.4	0.4	
	平成2年	100.0	13.0	-	13.0	87.0	0.2	-	15.3	37.0	19.1	6.6	4.1	1.8	2.0		0.4	0.5	

注1：60年センサス3.0~4.0haの農家数を記入

注2：対比に利用する2年センサス値は3.0~4.0haの農家数

※ 今回公表の数値は概数値であり、後日、農林水産省が結果報告書として公表する数値が確定数値となります。

夢・フライト事業

絵画・作文コンクール

入賞作品紹介 -2-

(敬称略)

夢フライト

千手小 四年 窪田 明香
ヘリコプターに乗ったら、
車も、人も、みんな小さくみえる。

車は、おもちゃみたいだ。
人は、ありみだいに、小さい。
小さな、建物を見てみると、
私たちが、かいじゅうみたい。
田んぼは、黄色のじゅうたん

だ。
黄色のじゅうたんの上で、寝てみたいな。
黄色のじゅうたんは、
どこまでも、つづいている。

夢フライト

橘小 四年 戸田 和樹
今日は、待ちに待った夢フライト授業だ。
こしかけいすにすわり、順番を待った。

「ブルンブルン。」ヘリコプターのプロペラが回り始めた。ぼく達はヘリコプターに乗った。中は少しせまかった。きんちょうの一瞬だ。

「ブルンブルン。」ヘリコプターが浮いた時、胸がドキドキした。ヘリコプターが浮く時に、草がすぐくゆれた。目の下はたぬき沢球場だ。「ここが橘小学校です。」と運転席にいる人が教えてくれた。ぼくの家も木



上野小 2年 押木 拓巳

のかげから見えた。ぼくの家はマッチ箱のように小さかった。でも、見えたからとでもうれしかった。

次に、野口方面から仙田方面に飛んでいった。山が深く雄大だった。あつというまに千手の上空にきた。川西町の役場も見えた。田んぼの稲が黄色でとてもきれいだ。でも、もうたぬき沢についてしまった。ヘリコプターからおりた時本当によかったなあと思つた。時間は短かったけど楽しい思い出となった。

未来の川西町

千手小 四年 保坂 優海
未来の川西町。
それはだれもがきたいしている。

緑一面の川西町。
大都市の川西町。

どんな川西町が夢なのだろう。どんな川西町がいいのだろう。今、川西町はすこしずつ変化している。

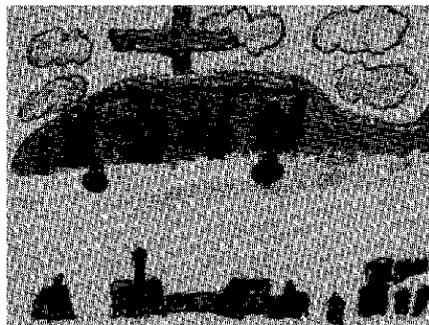
千手南校舎の工事。
室島橋の工事。
そして十日町と川西町をつなぐ

「つまり大橋」の工事
未来の川西町。
それはだれもが一人一人の若者に、かけている。

ヘリコプター

白倉小 四年 中村 光宏
ヘリコプターに乗ると
人がごま粒くらい

まるでぼくたちは鳥になったみたいだ。ぼくたちが今まで大きいと思つた山が、あんなに小さい。まるで魔法にかかったようだ



上野小 2年 源貴 正嗣

空から見ると

田んぼや畑や緑がいつぱい
ぼくたちは
こんなところに住んでいる

ヘリコプターが
グリーンとかたむいた
ぼくは戸が開いてしまふかと
ドキドキした

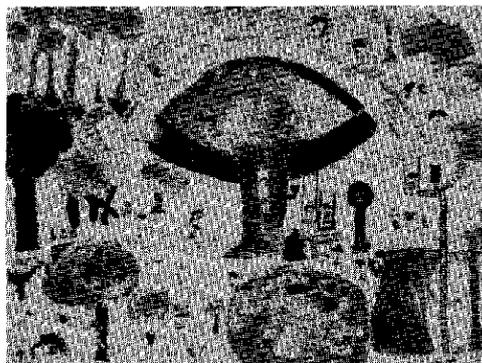
白倉にきた時
大白倉が見えなくて
ぼくは残念だと思つたけれど
少しだけ見えたからうれしかった

ゆめふらいと

仙田小 五年 長谷川正和
ぼくが家の手伝いで稲かりをしていると、ヘリコプターが飛んできました。明日ヘリに乗ると思うと、きんちょうしました。また、ヘリが落ちないかと心配です。お父さんが、「ヘリコプターから落ちるな。」といつたのでぼくは、「ヘリコプターが落ちるかも。」といつてわらいました。でもヘリコプターはどのくらいの高さまで飛ぶのかなと気になりました。

この夢フライトでよかつたことは、まずぼくの家がみえたことです。そしてお母さんの働いているシステムケイをぎりぎりみのがさなかつたこと、学校もみれたことです。でも残念なこ

千手小三年グループ作品(丸山英明 高橋史子 保坂奈穂美 西野健)

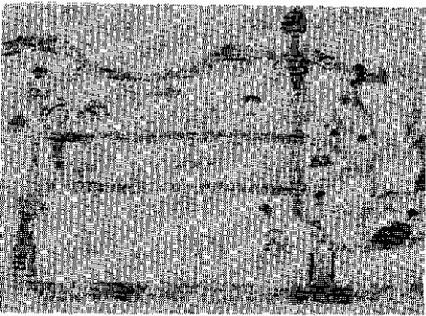


とに、お父さんの働く農協を見ることができませんでした。

飛んでいてびっくりしたこともありました。千手や上野の方の田んぼがすごく広がったことです。でも仙田の方は小さい田んぼで山の上の方にもありました。それと、山と電信柱が模型のようにみえておどろきました。こんな所に住んでいるんだなあと思うと、へんな感じがします。

次は、印象に残ったことです。それは山です。緑の山がとてもきれいだったのはびっくりしました。また空の上から山をみおろしたことがないので、とても感動しました。川西町の山をこのままきれいに、残していかなければいけないと思います。

残念なことは、天候がくもりでしかも、雨までふったことです。晴れていたらなあと思うとくやしいです。それと、ヘリで飛んでいる時間が短かったことです。もっと長く飛んでほしい



千手小4年グループ作品(小野塚梨恵 平野千秋 野上真理子 星名陽子)



仙田小 3年 小林 美喜

かったけど、大勢の人たちがるのでしかたありません。最後に、この行事を考えてくれた人たちに感じやします。ありがとうございました。

上から見た私の町

橘小 五年 羽鳥奈穂子

早くヘリコプターが来ないかなあ。と思いながら、あめをなめてまっています。ヘリコプターが来たので、みんなが手をつないで、ヘリコプターの所に行つて、ヘリコプターに乗りました。シートベルトをしめたら戸がしまりました。私は、どんなに高く飛ぶのかなと思います。た。ヘリコプターが動いて、だんだん上に上がっていききました。畑をこえて、家がたくさんある所に出ました。私の家が、とても小さく見えました。学校も、

道も、川も、おもちゃのように見えました。

私のとなりになっていた和代さんが、「すごく小さくてかわいいね。」と言いました。車のスピードが、とてもおそくて、歩いてもこせるとおそく、雲がすぐそこに見えました。まっ白で、ふわふわしていて、とてもきれいでした。もし、雲に乗れたらいいな。思いながら、じつと雲を見ていました。

和代さんと私で、「すごくきれいだね。」と言いながら、下の方に見を向けました。とがっている木や小さな木。太い木や細い木がたくさんならんでいました。終わった後写真をとってもらいました。

ヘリコプターに乗って、川西町はとても自然の多い町だと分かりました。とてもいい思い出ができてよかったですと思います。

ヘリコプターに乗ってみて

上野小 五年 今井 尚徳

九月四日に、夢フライト号というヘリコプターに乗りました。バスに乗って、橘の野球場へ行きました。バスの中で、隼平君と、「おれ、高所恐怖症なんだ。」ということ話をしました。

ヘリコプターに乗る前に、あめを一つもらいました。シート

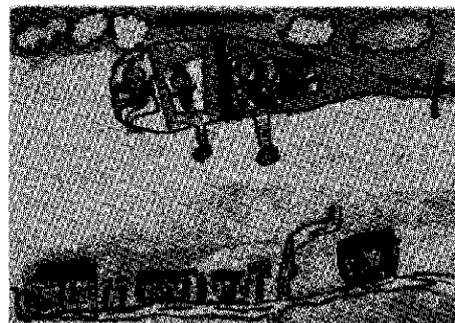
ベルトをしめて、出発しました。急が上がっていったので、「うわー。」と言いました。すごく高く上がったようなので外をのぞきこんだら、家や田んぼが小さく見えました。しばらくしたら「あつミステリーサークルだ。」という声がありました。丸い形がいねがたおれていました。

「あつ上野小学校が見えた。」

という声がありました。大きな小学校がとても小さく見えました。ぼくの家や友達の家や康暢君の家や晋君の家も、もけいのように小さく見えました。すごく大きな総合体育館も小さく見えました。中学校や高校も小さく見えました。道路を走っている車を見ると、ミニカーのように見えました。そして、千手小学校が見えてくると、急にななめに曲がり始めたので、ぼくは「うわー気持ち悪い。」と言ってしまいました。発電所の上を通ったとき下を見るとあんな大きな池が小



上野小 2年 金子 歩美



上野小 2年 高橋 和則

さく見えました。

こんどは、新町の方へむかいました。そして「あつ隼平の家だ。」とか「角屋見つけた。」「ポツキー発見」などいろいろみんなが言っていました。それから、元町地区の方を飛びました。教頭先生が直也君に「直也家みつけたか。」と聞いていました。そして、橘小学校が少し見えました。ついに着陸のときがきました。ぐらぐらゆれながら着陸しました。シートベルトをはずしてヘリコプターから下りました。プロペラの、「バババババ。」というものすごい音が耳に残りました。次に五年生の女子たちが乗りました。テントの所で待っていても耳が、「ツーン」としていました。でもまた乗る機会があれば乗りたいと思いました。

千手橋と西山橋

渡り初めをして完成を祝う

神主を先頭に西山橋の渡り初め



三代夫婦を先頭に千手橋の渡り初め



増田嘉一さん（室島）ご家族

町で初めて本格的な流雪溝整備事業を取り入れた千手川に架かる「千手橋」と、洪海川に架かる唯一の木造橋だった「西山橋」が、十一月三十日と十二月二日にそれぞれ完成。地域の二代夫婦合計五組が渡り初めをして開通を祝いました。

千手橋は、従来の暗きま構造から、幅九メートル、長さ一〇メートルのコンクリート橋に、西山橋は、幅四・五メートル、長さ一八メートルの永久橋に架け替えられました。



市川松男さん（中屋敷）ご家族



須藤 修さん（仁田）ご家族



中村克巳さん（坪山）ご家族



丸山紘司さん（高原田）ご家族

ある青年会の記録 ⑪

岩瀬 金子 幸 作

台湾鎮定の犠牲に

大正四年(一九一五)四月三

日、台湾鎮定ノ為ニ自ラ台北庁ノ巡查トナリ、蕃匪討伐ニ参加シテ名譽ノ戦死ヲ遂ゲシ江口俊平君ノ葬儀場作りヲ手伝フ。

四月四日、下組連合青年会ハ全員白倉校ニ参集シ、江口俊平君ノ葬儀ニ参列ス。江口君ハ大日本帝国ノ為志願シテ巡查トナリ、阿里山方面ノ蕃賊掃討戦ニ重任ヲ全フ中敵ニヤラレル。本会役員ヲ勤メ、白倉校ニ在リテハ生徒ノ教育ニ専心シ、三ヶ字振興ノ為ニ尽力セシ人ナリ。

優良青年を表彰

七月拾壹日 中魚沼郡青年團連合会ノ第六回総会ヲ十日町校ニ於テ開催。参会者一千五百余名ヲ数ヘテ盛会ナリキ。優良青年トシテ、片山郡長ヨリ表彰サレシ川西郷ノ青年ハ、仙田村ノ樋口興次、上野村ノ村越邦吉、中野村ノ星名忠太郎ノ三君ナリ。郡ノ理事ニ指名サレタル者ハ仙田村ノ小林誠治、千手町村ノ南雲政二、上野村ノ星名正守、

橋村ノ丸山豊太郎ノ各氏ナリ。

青年に軍事訓練

九月十五日 内務大臣と文部大臣から大要次の訓令が発せられ、村々の青年たちは驚く。

現在の青年団は、農事改良や風俗習慣の改善を主として、国民教育の一般的な補習を目的に活動しているが、欧州の戦況や世界の大勢から考えて、欧州に於ける交戦国の義勇少年軍のように、適齢期の青年に対して野外の軍事的な訓練や予備知識を与える必要がある。

今後は、日本の将来の為に在郷軍人と密接な関係を保ち、互いに援助し合つて強固な精神修養と体位の向上を図り、剛健勤勉、克く国家の進運を扶持するの精神と素質を養成していかなければならぬ。序に言うなら、遊興にふけて花柳病にかかるなどもつてのほかである。この訓令はきわめて重要なお達しとなる。十年後の昭和二年には全国に青年訓練所が設置され、同十年には小学校区を単位に青年学校が開校して、以後は

徹底した軍事教育が行われる。

忠魂碑を記念事業に

九月廿一日 役場ニ幹部会ヲ開キ、御大典(天皇の即位)記念事業ヲ次ノヤウニ決定スル。

軍人団ト一致シテ、役場ノ山上ニ忠魂場ヲ建テル。予算ハ、金二百円トシ、半額ヲ青年、軍人団の寄付トナシ、残り百円ハ各部落重立ヨリ寄付ヲ頂ク。各字毎ニ苗木二本ヲ記念植樹スル。石碑ハ柏崎ノ石材屋ニ注文シテ拾月拾参日ニ着工シ、拾壹月拾日迄ニ完工スル。

御大典を奉祝

四月拾一日 昭憲皇太后陛下



克雪センター南側にある仙田の忠魂碑

御一年祭ノ式典ヲ白倉校ニ舉行ス。青年会、軍人団、婦人会、区民全員喪章を付ケテ参列。各戸ハ半旗ヲ掲ゲテ弔意ヲ表ス。拾壹月拾日 御大典ノ式ヲ午後一時ヨリ舉行ス。区民一同ハ一発ノ煙火ヲ合図ニ白倉校ニ参集ス。詔書、勅語、勅諭ヲ奉誦アリ。三時二十分ニ至ル哉、祝賀ノ号砲ヲ聴キテ天皇陛下ノ万歳ヲ三唱ス。同夜ハ、老若男女歡喜シテ提灯行列ヲ行フ。

乃木希典大将ノ揮毫ナリキ。青年、軍人団ヲ始メ参列者三百余名、式後ハ中仙田校ニ於テ祝宴会ヲ開催、天神囃、年寄衆ノ手踊リアリ、午後六時閉会ス。当会ハ、此工事ニ会員一人金貳拾銭ヲ寄付、人足トシテ四拾人出役、桜一本を植樹シタリ。

史料保存の大切さ



明治後期から大正時代の、川西郷の社会や若い衆の動きを知っていたと、ある青年会の記録を連載しておよそ一年が過ぎてしまいました。

小白倉青年会の、毎年の役員が忠実にまとめたこの記録は、

昭和二十年八月のある日、占領軍の日にふれることを恐れて焼却される運命にあったのです。それを、今日までひそかに保存して下さったのは、仙田中学校長を最後に教職を退かれた藤本秀雄先生でした。あのとき燃していれば、この貴重な資料は世に出ないで消えていた、そう思いますと、藤本先生の勇気と決断に改めて感謝の気持ちがわきあがります。

この連載が終わりましたら、昭和初期の農村豪雪地にわが国で最初の診療所を開設した、橋村の先人たちの苦勞をご紹介します。そのあとは、昭和ひとけた前に生まれた方々の体験で、今とりあげないと消滅する昔の生活を、ことしいっぱい伝えたいと考えています。上町の平野正義さん始め、ご感想をお寄せくださったみなさま、毎号この欄にお目とおしくございます。本年もよろしくお願ひ申しあげます。

俳壇奨励賞

受賞に感謝

八王子市 松浦サクさん

(中仙田出身)



善意

(敬称略)

一般寄附

佐野 篤夫(十日町市)五十万円

広報発行に

登坂 博史(浦和市) 一万円

ほかに図書《淡海の級友》

一冊

おわび

十二月号で、西野美枝さんの善意が「広報発行」にとなってしました。「社会福祉」に訂正します。

謹啓 町長様はじめ皆様お元気でご公務のほど、心からお喜び申し上げます。

このたびは、俳壇奨励賞をお送りいただき、びっくりしています。年だけは一人前ですが、すべて未熟です。いつも反省しながら、広報紙での大勢の方々の心情を学び、楽しませていただいております。ほんとうにありがとうございます。今後とも頑張るようにとのことだと、胸に刻んで学んでまいります。

さいわい、とても暖かい毎日で、野菜の出来も良く、今、白菜が大きく巻いて並んでおります。自分が丹精したのは、格別

おいしいような気がします。近所の方々にも差し上げています。手まめ足まめ脳も生き生き、

などと言いつつながらよく歩いていきます。年を重ねるほど、故郷の有り難さが身にしみ「広報かわにし」が、とても待ち遠しい気持ちです。町長様を先頭にすばらしい町の発展ぶりは、うれしい限りです。広報を友達に見せては、うらやましがられています。

時節柄、ご自愛をお祈りし、急ぎ一筆お礼申し上げます。皆様になにとぞよろしくお申し伝えさせていただきます。かしこ

松葉荘従業員募集

- 調理師 (20~55歳) 1人
- 調理師見習 (18~35歳) 1人
- ウェイトレス兼調理補助員 (18~45歳・女性) 2人
- 接客係 (20~50歳・女性) 2人
- パート (女性) 若干人

待遇

月給制、雇用保険、社会保険、制服貸与
夏季・年末一時金支給、昇給年1回

※詳細は、松葉荘へご連絡ください ☎68-2242

生涯学習シリーズ ⑧

《スポーツでリフレッシュ》

近年、生涯学習に対する認識がとみに高まっている中で、明るく豊かで活力ある生活を送るため、生涯にわたってスポーツに積極的に親しむ傾向がより強くみられるようになりました。

これは、世の中が進歩し、情報化やオートメーション化など急激な社会環境の変化に伴って、青少年をはじめ高齢者まで、体を動かす機会が少なくなり、体力の低下やストレスによると思われる健康障害などが多くなってきたことが挙げられます。

このようなことから、私たちの健康や体力に対する関心は一段と高まってきており、スポーツ活動は、健康・体力づくりはもとより、仲間づくりや潤いのある社会生活の実現のために、ますます重要なものになっていきます。

県でもスポーツの振興については、県民が生活の折々に、スポーツを楽しむながら健康・体力の保持増進を図る生涯スポーツの推進を目標に、人生各期において

- 楽しく (幼・少年期)
 - 強く (青・成年期)
 - さわやか (壮・高齢期)
- スポーツを!

推進スローガンとして、健康で明るく活力に満ちた県民生活の実現に努めています。

川西町でも、体育指導委員の皆様のご協力により、フレッシュユバレーや綱引き、各種スポーツ教室などで健康・体力づくりに励む人たちが多くいます。また、テニスに親しむ青年、バレーボールやエアロビクスで汗を流すお母さん、あるいは野球やゴルフで頑張るお父さん、はたまたまたゲートボールやウォーキングで健康づくりのお年寄り、幅広い年齢層の人たちがスポーツに親しんでいる姿を町のあちこちで見ることが出来ます。

さあ、今年から自らの健康や体力の向上のため、年齢や体力に応じて、気軽に、楽しくスポーツに親しんでみてはいかがでしょうか。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

南雲重美子 50 (寅太) 田中
登坂 ミヨ 74 (敏栄) 岩瀬
大平 米吉 75 (喜平) 原田
佐藤 ミヨリ 76 (一徳) 小脇
井口 武次 77 (本人) 発電所通り東

小川 テイ 78 (滋) 下平新田
五十嵐 鉄治 81 (本人) 野口
佐藤 フサ 84 (博夫) 寺尾
青柳 ケサエ 85 (青木伸輝) 木落
渡辺 理平 86 (賢一) 四郎兼

うぶ声—おすこやかに
田村 祐馬 ^{ゆうま} 晴基 長男 上野
渡貫 彩乃 ^{あやの} 高志 長女 新町新田
由美子

新年俳壇



仕事始・新年雑詠 太田白南風選

《特選》

藍匂う糸をのべたる初仕事

上野 内山 寛平

《評》

新しく藍に染め上げた糸を張りのべた初の機仕事である。漂う藍の香が清新な気を誘い、初仕事という気持と、藍糸をのべた機場の雰囲気と愛着が、簡明な表現の中から感じられ、初仕事という心と清々しさを出している。

《推選》

初市の祝儀相場の手締かな 練馬区 須藤 遊人
帯結ひて後姿も初鏡 中島町 相沢 鈴江
子等のみな父の脊を越し初詣 小白倉 江口みゆき
初空の風にのりたる絵凧かな 大倉 中条 石平
紺色の上衣新し初仕事 八王子市 松浦 サク

《入選》

安産を祈る一家の初詣 中屋敷 小林たみい
初せりの活気の満てる大手締 岩瀬 登坂伊智子
真新しエプロンかけて初仕事 山野田 清水 ちい
作業衣も用具も新たな初仕事 伊勢原市 金子 桂吉
内職の小さな仕事始かな 元町 田畑三千代
除雪車の出番もなく三ヶ日 岩瀬 金子 美季
初日の出荘厳という刻の来て 足立区 駒形 頼太
箱よりの崩れし嵩の歌留多かな 発電所通り小川 京子
御神酒を機械に供え初仕事 板橋区 田中 優美
御宮の高き石段初詣 野口 村越 幸
曆にも予定書き入れ初仕事 山野田 藤田ひろ志

丸山 晴香 ^{はるか} 浩一 長女 根深
蔵品 瞳 ^{ひとみ} 廣行 二女 霜条
星名 叶恵 ^{かなえ} 正明 二女 沖立
園 江

たかさご—円満に

中村雅一 坪山
金沢 明子 十日町市から

割烹着つけたる妻の初仕事 小脇 佐藤 信一
初仕事老の一徹繩をなう 仁田 小幡しん女
初詣晴着姿に舞う小詣 野口 野沢 静江

膝の上に重ねて賀状読始む 赤谷 登坂 酔月
外国の人も交えて初仕事 厚木市 川崎 保一
庭先の雪かき仕事始かな 新町 井川 亘
久方に来て寒風の師走町 岩瀬 小川 益栄
恙なく仕事始の手内職 中仙田 高橋 杉枝
宮守の柏手高く初詣 野口 野沢 寅生

三ヶ日過ぎて一人の初仕事 上野 星名 春子
初仕事靴の重き郵便犬 高倉 齋木 和人
銀行の振袖の娘や事務始 浦和市 登坂 博史
紅白の業牡丹ならべ歳迎う 八王子市 田中 ひさ

霜柱勢い土を押し上げる 中仙田 小林 一則
初仕事心定まり人を待つ 中屋敷 数藤 壮一
一足の薬ぐつ組みの初仕事 上野 渡辺 朝
雪かきが仕事始となりけり 木落 丸山鉄四郎
障子貼り煤を払いて年の暮 発電所通り春日 ぶん

二山を拝みてよりの初仕事 四郎兼 平野 恵春
一白はお飾用の餅つきぬ 上野 入沢 はや
大鍋の煮とぼれてきし雑煮餅 霜条 大海 白涛
初仕事先づどの機械にも油さし 元町 金子 鉄平
新薬にまつしとを打ち初仕事 上町 高橋 願似

初御空

太田白南風

おほらかに明け悠久の初御空
雪山の鬘むらさきに初御空
薄々と紅の雲曳き初御空
雪片の降り浮みたる初御空
雪山の峰重畳と初御空

